

## 「わだちの会ロゴマーク」アイデア募集のお知らせ

### 1. ロゴマーク制作・募集の趣旨

ロゴマークとは、企業やブランドなどのイメージを図案化したもので、そのアイデンティティを表すシンボルです。そして、そのロゴマークは、気運の向上や結束力の強化を促すことから、わが日本大学でも、様々な機会にそれぞれのロゴマークが制作されてきました。

「わだちの会」も会員数が8,200人余りとなり、また2026年には創立60周年を迎えるにあたり、今後ますます「わだちの会」が持続的に進展していくことをアピールする必要があります。轟朝幸先生が理工学部長に就任されているこの機会にロゴマークを制定すべく、会員からのロゴデザインを募集いたします。

### 2. 応募資格

「わだちの会」会員個人、または会員を含むグループ・団体とします。

### 3. 応募方法

・「わだちの会」ホームページにある「ロゴデザイン募集」のバナーからアクセスして、ご応募ください。

※Googleアカウントでのログインが必要です。

・応募の際には、制作意図を簡単に記述してください。

※一個人または一グループ・団体で、複数作品の応募を受け付けます。その際は、一作品ずつ応募フォームにアクセスしてご応募ください。

応募フォーム URL : <https://forms.gle/qkDjb6MkoNRizRHEA>



応募フォーム QR コード

### 4. 受付期間

令和7年7月1日（火）～9月30日（火）

### 5. デザイン基準・仕様

・「わだちの会」とその組織の結束、発展、進化、躍動、継続などを印象づけるものとしてください。

・自作かつ未発表の作品（第三者の著作権、商標権等の権利侵害がないもの）に限ります。

・カラーか単色かは不問とします。

・デジタルデータは、ファイル形式をAI、PNG、JPGのいずれかに設定してください。

・手書きで制作したものは、写真撮影やスキャンなどにより画像ファイルに変換してください。

※デザインのすべてをAI（人工知能）により制作したものは、審査対象外とします。

### 6. 表彰

採用作品（1点）には1万円相当のギフト券を進呈いたします。

### 7. 審査および結果発表

・応募された作品は「わだちの会」理事会の理事および事務局員により、厳正に審査いたします。

・審査結果は本人に直接通知するとともに、「わだちの会」ホームページにて発表します。

・最優秀に選ばれたロゴマークの著作権については本人に帰属しますが、以降「わだちの会」の公式ロゴマークとして使用させていただくことを了承していただき、ご応募ください。

<参考：関係組織のロゴマーク>



【日本大学 統一ロゴマーク：エヌドット】

2007年6月に統一ロゴマークを初制定。本学の頭文字「N」を自ら強さと躍動感のある書体で表現しており、右横の丸印は建学の精神である「日本精神」「個の尊重」さらに輝く太陽を意識している。 出典：日本大学広報 第618号 平成23年4月8日



【日本大学理工学部 ロゴマーク】

「リコウ」の音はすぐに「理工」をイメージしにくい。学部を身近に感じてもらうための愛称を平成13年4月、理工の英語表記の頭文字を取り「CST」とした。ロゴのデザインは学部出身の杉山知之氏（デジタルハリウッド大学長）。CSTの下半分のスリットは理工学の躍動を表現。文字色に決まりはなく、何色でも使える。

出典：日本大学広報 第564号 平成19年10月1日



【日本大学理工学部創設100周年記念ロゴマーク】

ロゴマークのデザインは野老朝雄さん（東京2020オリンピック・パラリンピックエンブレムのデザインを手がけたアーティスト）によるものです。このロゴマークからは、平面的でありながらも立体的なかたちが浮かび上がり、同時に、幾何学的でありながらも有機的な桜のかたちが浮かび上がります。そのことにより、このロゴマークは、「もの」から「こと」を浮かび上がらせる理工学部を現すものになるでしょう。そしてまた、楕円が集まることで、さまざまなかたちをつくるこのロゴは、理工学部の多様な学科の集まりが生み出す教育と研究の姿を表します。

出典：日本大学理工学部創設100周年・短期大学部(船橋校舎)創設70周年記念サイト



交通システム工学科

【日本大学理工学部交通システム工学科 ロゴマーク】

※学科で初めて作成されたロゴマークで、古い時代から長く使われていきます。



【新潟わだちの会 ロゴマーク】

新潟わだちの会30周年を記念して、幹事有志でロゴマーク作成チームを結成し、ロゴマークを作成しました。「わだち」には「先人の通った道」という意味があります。2本の曲線のラインを「わだち」に見立て、諸先輩方の築いてきた道である「わだち」を、今後も末永く続けていきたい、という願いをこめました。また、新潟県マークを日本海の色である青とすることで、新潟県らしさを表しました。

出典：新潟わだちの会創立30周年記念誌 令和元年10月26日発行